

# 朝日の山並み

## 親子キャンプで深めた絆

九月五日、六日の

一泊二日、親子でキャンプ！親子で草花遊びが行われました。二歳から小四までの親子十三組が参加しました。



初めに、テント設置を行いました。テント

を初めて立てる親子もいましたが、家族と力を合わせて立てることで

その後、野外炊飯で「森もり焼きそば」を作りました。班ごとに相談しながら野菜を切ったり、かまどに火を起したりして和気あいあいと焼きそばを作る姿が見られました。

夜は、ボンファイヤーの火のあたり、焼きマッシュルームを楽しみました。親子で過した時間は、消灯の時間まで親子の語り合いが続いていました。

二日は、草花遊びを行いました。「オオバコ」相撲「母舟作りの」ツバキのそり作りの「葉っぱのお面作り」など、身近な草花でいろいろな遊びが楽しめることに驚き「またお家でもしてみたい」と楽しそうでした。

朝食は、「包み焼き」が「す」。生地作りのパン作りも行い、かまどで焼いて食べました。自分たちで作ったシザの味にみんな大満足でした。自然に親しみながら、親子の絆を深める一日となりました。

発行

朝日少年自然の家

0237(62)4125

FAX (62)4126

## 大人の月山トレッキング

九月二十日、「大人の月山トレッキング」錦の絨毯を歩くが行われました。成人を対象にしたこの企画には、二十九名の参加を頂きました。午前中は、西川町の姥沢口をスタートし、姥ヶ岳へ牛首を経て月山山頂を目指します。月山ハイランドに乗り込む時点では、あじさいの雨模様。早瀬園員の注意です。身体を整えた後、姥ヶ岳を目指しました。このハイランドはだももの霧は深いです。そんな中、足元の高山植物や、参加者の会話が心を和ませています。

姥ヶ岳のピークを過ぎたころ、風が前方の霧をほたの「瞬」だけかき払いました。そこは草紅葉をまじった「金姥」の姿が、金色に輝く姿、一回々を名前を納得させられました。

お風呂には無事山頂に到着。抱きかかされたコンロの水で熱いみそ汁を作る、お風呂にきました。午後5時の山頂に到着。汗が蒸気を出して来ました。

今回のトレッキングの目標は、その行程にもあります。頂上からハイターポイントのほた、鶴岡市の羽黒口までハイキングに縦走するのです。午後は、行者返しをして、仏生池小屋を目指します。

月山の鶴岡側は、また違った姿を見せつけました。時折参加者のプレゼントのように晴れ間が訪れる、そこには雄大な天然絵巻が広がっていました。広々とした高層温泉の光景は、なるほど月山が「死に再生」をひかせる山に違いないと納得させられます。下ルートは比較的緩やかな行程です。参加者の皆さんは、景色が広がるたびに歓声を上げながら、カメラのシャッターを切ったり、会話を楽しんでいながら進んでいきました。

このハイパーールです。弥陀ヶ原で記念写真を撮りました。皆さんの表情にその充実感が表れています。「来年も参加したいな」「そんな言葉を交わしながら、笑顔で終えた月山トレッキングでした。

